

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	胃がんリスク検査				シート番号	011-189	
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進	課 評価責任者(課長名)	河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 28 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市がん対策推進条例、堺市胃がんリスク検査の実施に関する要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	本市が実施する胃がん検診については「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき実施しているが、平成28年度より対象者を40歳以上から50歳以上に変更されたところである。この改正に伴い、胃がん検診の対象から外れた40歳代については、将来の胃がん発症のリスクを知り、胃がん予防意識の増進を図るとともに、若い世代からヘリコバクター・ピロリの除菌治療によって胃がん発症を予防し、将来的な胃がんによる死亡者の減少を図るための事業として胃がんリスク検査の導入に至った。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	35歳～49歳の市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんによる死亡者の減少を実現するため。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	ペプシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ抗体検査により、胃がん発生のリスクを調べる検査を実施。受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。 検査内容 ・問診 ・血液検査(ピロリ菌の有無、胃の萎縮度の判定) ・自己負担金:1,000円(市民税非課税世帯・生活保護世帯等の方は事前に保健センターへ申請すれば無料) 検査の結果により、要精密検査となった方には精密検査を案内している。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
10	直接実施以外の主な支出先	一般社団法人堺市医師会					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費(a)	千円	61,848	5,252	15,453	6,199	5,415	7,566	16,733
主な事業費内訳	委託料他	千円	61,848	5,252	15,453	6,199	5,415	7,566
		千円						
		千円						
		千円						
	国・府支出金	千円						
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
財源内訳	市債	千円						
	その他( )	千円						
一般財源	千円	61,848	5,252	15,453	6,199	5,415	7,566	16,733
12 人件費(b)	千円	820	820	820	820	810	810	820
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	62,668	6,072	16,273	7,019	6,225	8,376	17,553

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	胃がんリスク検査	シート番号	011-189
-------	----------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	保健センターにおいて、受診勧奨の啓発を行った。また、40代から胃がん検診の問い合わせがあった際には、リスク検査を案内した。個別医療機関向けの研修会を医師会と連携して開催し、精度管理に努めた。						
		指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	受診者数	人	目標値	-	-	1,400	2,000
				実績値	1,249	1,356	1,813	
				達成率	-	-	130%	
				評価	-	-	大変良い	
		算出方法・設定根拠など 前年の実績値を上回る目標値とする。						
	16		単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値						
		実績値						
達成率								
評価								

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	受診者数	人	1,249	1,471	1,813
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,072	7,019	8,376
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,862	4,772	4,620
	備考(算出についての説明等)					
18		区分 <td style="text-align: center;">単位 <td style="text-align: center;">平成29年度</td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> <td style="text-align: center;">令和元年度</td> </td>	単位 <td style="text-align: center;">平成29年度</td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> <td style="text-align: center;">令和元年度</td>	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		平成28年10月より開始した事業であり、多くの方に受診いただくように周知に努め、受診者数は増加してきている。今後も、引き続き制度周知に努め、胃がんのリスクを知っていただき、受診者の更なる増加を目指す。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	胃がんリスク検査	シート番号	011-189
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 胃がんリスク検査の機会が失われることで、胃がん予防や市民の健康の保持増進への影響が考えられる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 休止期間が長期化された場合、廃止した場合と同様の影響が考えられる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんによる死亡者の減少を実現するため、検診の受診機会の確保が必要であるため。
			<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 各医療機関において、換気・消毒液の設置等の感染予防対策を講じ検診を実施している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	<b>理由・説明</b> 協定企業との連携を強化し、啓発手法の見直しを予定している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	

所見  
 新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じたうえで実施していく。  
 令和2年度より対象年齢を40歳～49歳の間に1回から、35歳～49歳の間に1回と対象年齢の拡充を行った。  
 また、令和2年度より2年間、胃がんリスク検査及び前立腺がん検査の自己負担金無償化も5つのがん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)の自己負担金無償化に加えて実施している。  
 胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんによる死亡者の減少を実現するためにも、この機会に検診を受診していただくよう、がん検診総合相談センターを活用したコール・リコールによる受診勧奨及びインターネットサイトへのWeb広告の掲載など、効果的な啓発に取り組んでいく。